

早稲田大学
大学院会計研究科

会計研でアクチュアリーを目指す

アクチュアリー専門コース

研究科概要・入試



早稲田大学 会計研究科
Graduate School of Accountancy, Waseda University

アクチュアリーとは（１）

アクチュアリーとは、

確率や統計などの手法を用いて、将来の不確実な事象の評価を行い、保険や年金、リスクマネジメントなどの多彩なフィールドで活躍する数理業務のプロフェッショナルです。

Think the Future, Manage the Risk

－ 日本アクチュアリー会のスローガン －

当スローガンには、「将来のリスクが多様化していく中で、アクチュアリーとしてあるべき姿を考えながら、リスクをマネージメントしていこう」という アクチュアリーの意気込みが込められています。

アクチュアリーとは(2)

○アクチュアリーの起源

アクチュアリーは、**18世紀のイギリス**において、生命保険の誕生と共に、合理的な保険料算出の専門家として誕生

○日本では、一般的に、当会の「**正会員**」がアクチュアリー

○どんな人がアクチュアリーになっているのか

- ✓ 確率・統計をベースとするプロフェッショナルであり、伝統的には、**理学系・工学系**の出身者が多い。
- ✓ 統計学を活用する**経済学**、**金融工学**などの分野も親和性が高い。

アクチュアリーの活躍のフィールド

所属している会社

生命保険会社
損害保険会社
信託銀行
再保険会社 等

数理コンサルティング会社
監査法人

活躍フィールド

- 伝統的には保険商品や年金商品の
料率設定、決算業務
- リスクマネジメント、データサイエンスなど、
アクチュアリーの**活躍するフィールドは**
伝統的分野を超えて広がっている

複雑化・高度化

社会環境・金融経済環境



少子高齢化



グローバル化



気候変動

デジタル

トランスフォーメーション



データサイエンス



AI

日本アクチュアリー会／歴史と主な事業

- 1899年に創立された約120年の歴史を持つ団体であり、
アクチュアリー学の研究調査、アクチュアリー教育・育成、
海外のアクチュアリー団体との交流など幅広く活動している。

公益社団法人 日本アクチュアリー会 定款第3条（目的）

本会は、

- ✓アクチュアリー学の総合的調査研究活動を通じ、
- ✓アクチュアリー専門職としての職務遂行能力の維持向上及びその関与する事業の健全な発展を図り、
- ✓もって国民生活の安定及び国民経済の健全な発展に資することを目的とする。

日本アクチュアリー会／会員の種類

○日本アクチュアリー会の会員の種類は、「正会員」「準会員」「研究会員」

正会員

- 資格試験の**全科目（第1次・第2次試験）**に合格（＋プロフェッショナリズム研修を受講）し、**理事会の承認を得た者**

有資格者 いわゆる**アクチュアリー**

準会員

- 資格試験の**基礎科目（第1次試験）の全て**に合格し、**理事会の承認を得た者**

研究会員

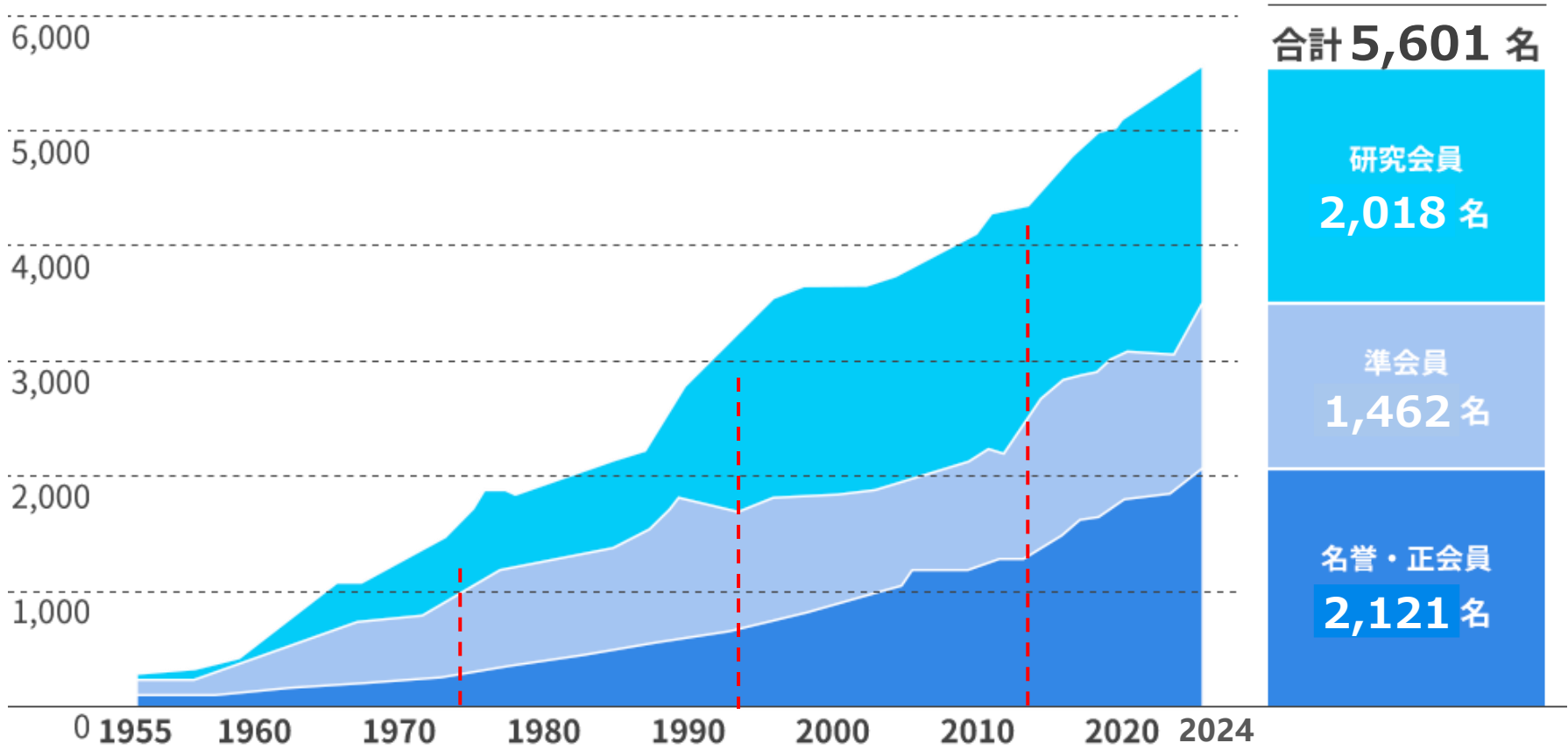
- 資格試験の**第1次試験のうち1科目以上**に合格し、**理事会の承認を得た者**
- **入会を申込み、理事会の承認を得た者**

※資格試験については後述

日本アクチュアリー会／会員数

○ アクチュアリーの活躍するフィールドの拡大、大学生等への認知度の向上により、日本アクチュアリー会の会員数は年々増加

単位：名



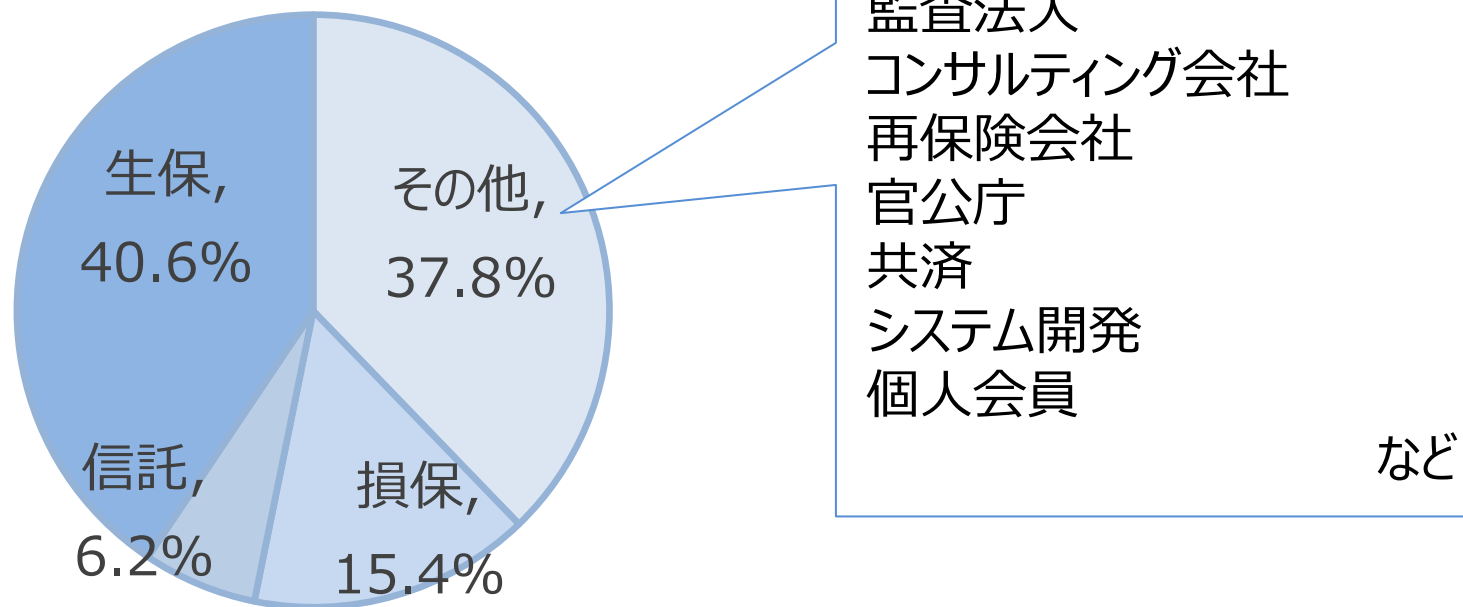
50年前

30年前

10年前

日本アクチュアリー会／会員構成

○ 会員（合計）の所属組織の構成



(2024年3月末)

	生命保険	信託銀行	損害保険	その他	合計
正会員	935	202	319	665	2,121
準会員	657	92	260	453	1,462
研究会員	681	55	284	998	2,018
合計	2,273	349	863	2,116	5,601

日本アクチュアリー会／資格試験

受験資格

- 資格試験直前の3月31日時点で満18歳以上の方
(2024年度試験の場合、2006年4月1日までに生まれた方)

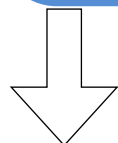
第1次試験 (基礎科目)

○第2次試験を受けるに相当な基礎的知識を有するかどうかを判定

5科目

準会員

第1次試験、5科目の全てに合格



「生保コース」「損保コース」「年金コース」から1つを選択

第2次試験 (専門科目)

○アクチュアリーとしての実務を行う上で、必要な専門的知識および問題解決能力を有するかどうかを判定

(1コース)
2科目

正会員

生保・損保・年金のいずれかのコースの2科目に合格
(+プロフェッショナリズム研修、特定分野研修※)

日本アクチュアリー会／資格試験

第1次試験

基礎科目 5科目

第2次試験を受けるに
相当な基礎的知識を
有するかどうかを判定

数学

【確率】 確率変数、確率分布、確率密度関数、分布関数／変数変換と和の分布／積率母関数、確率母関数、特性関数／中心極限定理 等
【統計】 統計的推定、区間推定／統計的検定／標本分布論と標本調査／最小2乗法と相関係数と回帰係数の推定、検定 等
【モデリング】 回帰分析／時系列解析／確率過程／シミュレーション 等

生保数理

【生保数理の基礎および応用】

利息の計算／生命表および生命関数／脱退残存表／純保険料／責任準備金(純保険料式)／計算基礎の変更／営業保険料／実務上の責任準備金／解約その他諸変更に伴う計算／連合生命に関する生命保険および年金／就業不能(または要介護)に関する諸給付／災害および疾病に関する保険 等

損保数理

【損保数理の基礎および応用】

料率算定の基礎(回帰分析等を含む)、リスクモデル／純保険料と営業保険料の算定方法／信託性理論／経験料率、クラス料率／支払備金の数理／積立保険の数理／保険料算出原理／危険理論の基礎／再保険の数理／リスク評価の数理 等

年金数理

【年金数理と年金財政の基本】

年金数理の基本原則／計算基礎率／年金現価率／定常人口論(含む人口モデル)／財政方式／保険料と責任準備金／積立金と過去勤務債務／数理的損益分析 等

会計・経済 ・投資理論

【会計】 財務会計制度／会計理論と会計基準／利益測定と資産評価／現金預金と有価証券／売上高と売上債権／棚卸資産と売上原価／有形固定資産と減価償却／無形固定資産と繰延資産／負債／株主資本と純資産／財務諸表の作成と公開 等
【経済】 ミクロ経済学(需要と供給、消費者行動、費用構造、市場取引と資源配分)／マクロ経済学(乗数メカニズム、貨幣の機能、マクロ経済政策) 等
【投資理論】 ポートフォリオ理論／CAPM／リスクニュートラル・プライシング／デリバティブの評価理論／債券投資分析／株式投資分析／デリバティブ投資分析 等

※詳しくは「資格試験要領」を参照

合格すれば「準会員」

アクチュアリー会のHPの「**アクチュアリーを目指す**」の「**資格試験過去問題集**」に昭和37年以降全ての過去問と解答が掲載。また、アクチュアリー会発行の教科書はランディングページの最下部「**教科書・参考書**」で無償提供

日本アクチュアリー会／資格試験

第2次試験

専門科目 2科目

アクチュアリーとしての実務を行う上で必要な専門的知識および問題解決能力を有するかどうかを判定

生保コース

生保1

生保商品の実務

営業保険料／解約および解約返戻金／アセットシェア／生命保険の商品開発／変額年金保険／団体生命保険／医療保険／再保険／商品毎収益検証

生保2

生保会計・決算

生命保険会計（税制を含む）／契約者配当／事業費の管理・分析／ソルベンシー／内部管理会計／相互会社と株式会社／変額年金保険／医療保険の責任準備金等／A L M

損保コース

損保1

損保商品の実務

損害保険業とは／損害保険料率／保険料の算定／再保険／リスク管理／損害保険業とアクチュアリー／リスクモデル／損害率・事業費率の分析

損保2

損保会計・決算・資産運用

損害保険業とは／損害保険会計の特色と体系／支払備金／責任準備金／資産運用／損害保険会計と税務／リスク管理／損害保険業とアクチュアリー／損害保険の損益分析

年金コース

年金1

公的年金制度・各種退職給付制度の設計と税務

公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）の設計／D B制度・D C制度の設計／退職金制度・中小企業退職金共済制度等／公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）及び各種退職給付制度の税務

年金2

公的年金制度・企業年金制度の財政並びに退職給付会計

公的年金制度（国民年金・厚生年金保険）の財政／D B制度の財政／退職給付会計（国際会計基準を含む）

合格すれば「正会員」

※プロフェッショナリズム研修・
特定分野研修の受講も要件

※詳しくは「資格試験要領」を参照

アクチュアリー会のHPの「[アクチュアリーを目指す](#)」の「[資格試験過去問題集](#)」に昭和37年以降全ての過去問と解答が掲載。また、アクチュアリー会発行の教科書はランディングページの最下部「[教科書・参考書](#)」で無償提供

日本アクチュアリー会／資格試験

2023年度 資格試験 受験者数・合格率

第1次試験	数学	生保数理	損保数理	年金数理	会計・経済・投資理論
受験者数（人）	827	536	494	359	494
合格者数（人）	166	191	220	55	121
合格率	20.1%	35.6%	44.5%	15.3%	24.5%

第2次試験	生保1	生保2	損保1	損保2	年金1	年金2
受験者数（人）	352	331	134	116	63	65
合格者数（人）	65	44	14	26	13	15
合格率	18.5%	13.3%	10.4%	22.4%	20.6%	23.1%

**全科目合格者数
85名**

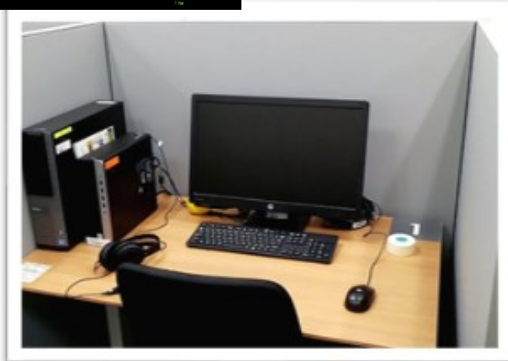
第1次試験は、3000名程度、
第2次試験は、1000名程度
が毎年受験

日本アクチュアリー会／資格試験

【開催地域・都市】

- ・試験日程：12月中旬
- ・申込日程：9月中旬～10月中旬
- ・試験会場：右図のとおり
- ・出題形式：1次試験 選択式
2次試験 記述式
- ・試験運営：CBT（コンピューターを利用した試験）
※2次試験の論述部分もキーボードで文章入力

PROMETRIC 【受験用ブース】



※2次試験は、関東、大阪のみ

※試験範囲や運営等の詳細は、当会ホームページに例年7月頃に公開する資格試験要領でご確認ください。

会計研究科の概要

パンフレット
p23

名称

- ・ 早稲田大学 大学院**会計研究科**
- ・ 専門職学位課程 会計専攻

コース・定員

- ・ 会計専門コース(2年)
- ・ **アクチュアリー専門コース(2年)**
- ・ 高度専門コース(1年)

入学定員100名、
収容定員200名

学位

- ・ 会計修士(専門職)
英文名称: Master of Business Administration (MBA)

その他

- ・ 昼間開講方式
- ・ 2005年4月設置
- ・ 常勤教員 15名 (うち実務家教員8名)

パンフレット p16

アクチュアリー専門コース

パンフレット
p 8

早稲田大学では、アクチュアリー養成を全学的に推進

- その拠点として会計研にアクチュアリープログラムを設置
- 会計研では、以前から「会計＋1」による取組みを実施

2019年4月からアクチュアリー専門コース(2年制)開設

- 異なる入試形態により、理数系が入学しやすく
- アクチュアリー関連科目を増設し、保険数理に強いMBAへ
- 日本アクチュアリー会等と提携し、1次試験5科目合格を目指す

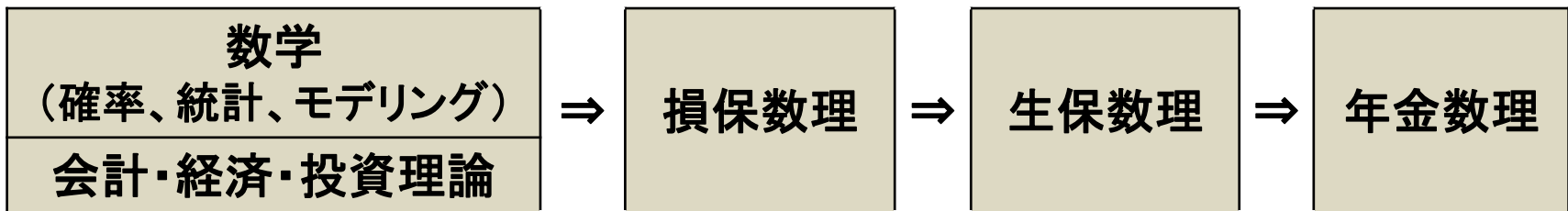
修了要件

- 2年以上在学し、60単位以上を修得(必修は「アクチュアリーのプロフェッショナリズム」「財務会計リテラシー」の2単位)
- Professional Communication系統・WS科目から、3単位以上
- 実務・応用科目から、8単位以上

アクチュアリー専門コース

◆ 在学中にアクチュアリー第1次試験を合格しよう

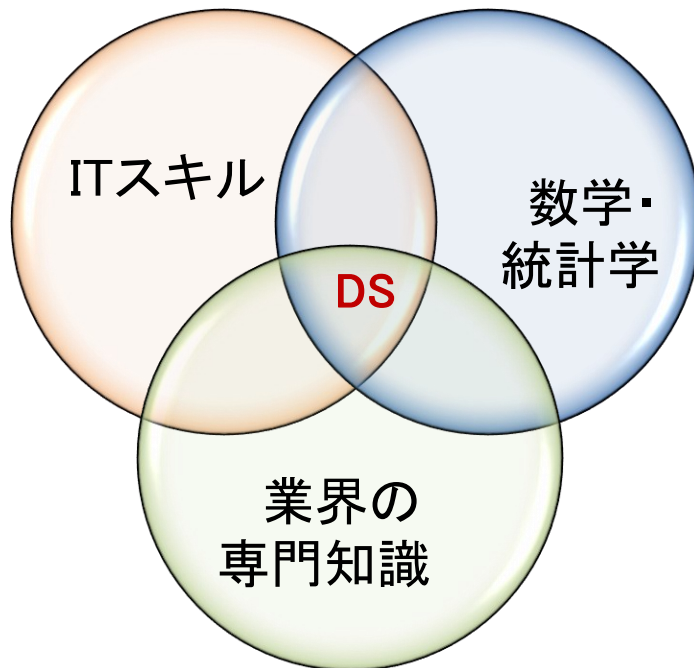
- 実務経験のない未合格者は、以下の受験の順番がベター



- ✓ 「数学」「会計・経済・投資理論」の出題範囲は大学・大学院で習得できる内容
⇒ 社会人との間で情報・知識格差はなく、学生にとって最も合格しやすい科目
⇒ 理系学部出身者は「数学」から、文系学部出身者は「会計・経済・投資理論」から
- ✓ 数学系の4科目において、保険・年金特有の理論・実務に係る知識を必要とする順番は、「損保数理」＜「生保数理」＜「年金数理」
- 理系学部出身者は、1年生において、「数学」「損保数理」「生保数理」の合格を目指す

-
- アに
パート
- +1
- CORE VALUE
アクチュアリー
- する
ユラ
を

+データサイエンス



米国のデータサイエンティストであるDrew Conwayによるデータサイエンス(DS)のための3つのスキル

- アクチュアリーは、確率統計を含む保険数理の知識があり、保険分野の理解があるため、3つのうち2つのスキルを持つ
- データサイエンスは、データから価値を引き出すための手法
→過去のデータからアルゴリズムを構築し、新しいデータによる将来予測と意思決定

野村准教授

「データサイエンスⅠ・Ⅱ」「データサイエンス演習」

岩沢客員教授

「予測モデリング論」「リスクデータサイエンスWS」

豊泉教授 「応用確率モデル理論」

＋会計（財務会計、管理会計、監査等）

試験対応

- ・第1次試験（基礎科目）における「会計・経済・投資理論」に対して
－初学者には、日商簿記講座（3級・2級）の受講機会
- －講義科目として「基礎簿記」「財務会計A」「財務会計B」など
- －演習科目として「アクチュアリー会計演習」「アクチュアリー経済・投資理論演習」

関連する 実務・応用 科目

- ・企業と相対するアクチュアリーとして
－企業価値評価に関連する「企業評価」「財務分析」「財務・非財務戦略と企業価値」など
- －企業の仕組みに関連する「内部統制の実務と監査」など

監査法人 による 提携講座

- ・EY新日本有限責任監査法人[金融機関のガバナンス・リスク管理・コンプライアンス]
- ・有限責任 あずさ監査法人[会計・監査の最新実務]
- ・PwCあらた有限責任監査法人[グローバル会計入門]
- ・太陽有限責任監査法人[IPO実務]

＋Professional Communication

ネイティブ
による講義

- ・ Business Communication, Professional Presentations, International Negotiation, Corporate Governanceなど（一部で入門-発展のレベルごとの科目あり）

国際関連業務の
実務・応用科目

- ・ 国際会計基準(IFRS)、国際交流会計ワークショップ、Financial Accounting Workshop、事業戦略管理会計ワークショップ、国際税務、Corporate Tax Law Workshopなど

協定校との
留学プログラム

- ・ エセック経済商科大学院大学(ESSEC Business School)
- ・ ハワイ大学マノア校(University of Hawai'i at Manoa)
- ・ ジャクソンビル大学(Jacksonville University)

＋ICT・コンサルティング

ERPシステム などの科目

- 大企業のプロセスは、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」をERPシステムによって統合的に管理
- SAP® ERPシステムをPC教室に導入

コンサルティング 企業との 連携講座 (提携講座)

- デロイト トーマツ コンサルティング
[CRM実務] [CFO組織の未来像]
- ジャパン・ビジネス・アシュアランス
[経理部門における内部統制とガバナンス実務]
- KPMG FAS
[事業再生実務]

修了要件

- ・ 1年以上在学し、48単位以上を修得し、専門職学位論文に合格

コンセプト

- ・ すでにプロフェッショナルとして活躍されている方が、さらにエキスパートとなることを目指すコース
- ・ 単に社会人経験者が“学び直す”コースではない

入学時に指導教員を選択

- ・ 2025年度の研究科目と指導教員については、入試要項等にて案内

一般科目等履修生として学ぶメリット

- ・1科目から、関心のある科目だけを重点的に履修可能
(最大で各学期14単位、年間28単位まで)
- ・米国アクチュアリー資格取得に必要な科目 (VEE)を履修可能
- ・単位修得が可能
 - ⇒[基礎選択必修科目を除く]10単位以上を修得した場合、
「履修証明書」を交付)
 - ⇒正規生として入学後、修了単位に算入可
- ・自習室や図書館など大学施設を活用できる
- ・聴講料は、1単位あたり74,400円 (2025年度4月入学の場合。2024年度9月入学は71,600円)

入学試験 概要

入学試験要項

p 7

※詳細はHP・入試要項をご覧ください <https://www.waseda.jp/fcom/gsa/applicants/admission>

特別な実務経験なし

→ 大学4年生又は大学卒で、数学、統計学、数理経済学等を十分に学習した

アクチュアリー専門コース

2-A: 一般入試(一次)12月、(二次)1月

→ 大学3年生で、数学、統計学、数理経済学等を十分に学習した

2-F: 飛び級入試 10月・11月

→ 早稲田大学各学部を卒業見込である

学内推薦基準を満たす

2-C: 学内推薦入試 7月・10月・1月

数学等を十分に学習した

2-D: 学内AO入試 7月・10月

成績基準等を満たす

2-E: 学内5年一貫修了制度入試 7月・10月

実務経験あり

→ 資格又は実務経験がある

実務に必要な最新の知識を学び直したい

2-G: 社会人経験重視入試 10月・1月

保険数理関連領域の研究論文を執筆したい

3-A: 高度専門コース一般入試 10月・1月

→ 企業・官庁等の大学院派遣制度を利用して学びたい

2-B: 企業等派遣入試 11月・1月

3-B: 高度専門コース企業等派遣入試
11月・1月

1科目から最先端の領域の知識やスキルを学びたい

一般科目等履修生入試 7月・1月

入学試験 概要

パンフレット
p 21

入試形態	入試時期					出願資格の概要
	7月	10月	11月	12月	1月	
2-A: 一般入試				○		(後述)
2-B: 企業等派遣入試			○		○	上場企業・官公庁等からの派遣
2-C: 学内推薦入試	○	○			○	(後述)
2-D: 学内AO入試	○	○				早稲田大学を卒業見込
2-E: 学内5年一貫 修了制度入試(*)	○	○				早稲田大学を卒業見込で、成績基準等を満たす(後述)
2-F: 飛び級入試		○	○			(後述)
2-G: 社会人経験 重視入試		○			○	実務経験7年以上、または、 保険数理・年金数理・財務経理 等の実務経験3年以上 + アク チュアリー1次試験1科目以上
(*)以下によって当研究科を早期修了することを認める制度 ・当研究科が学部生に開放する科目(先取科目)を20単位以上修得 ・当研究科1年次において修得した単位と合わせて60単位以上を修得						

2-A:アクチュアリー専門コース 一般入試(筆記12月、口述1月)

【出願資格】大学を卒業した者、および2025年3月までに卒業見込みの者

【第一次選考(筆記試験)】

1時限	90分	確率論・統計学	100点満点
2時限	90分	数学一般(解析、線形代数等)	50点満点
		会計・経済の基礎(*)	50点満点

(*) 以下を参考書とする

- ①日経文庫(日本経済新聞出版)の『会計学入門(第5版)』(桜井久勝著)
- ②日経文庫(日本経済新聞出版)の『はじめての経済学<上>』『はじめての経済学<下>』(いずれも伊藤元重著)

【第二次選考(口述試験)】

アクチュアリーになるための基本的な論理的思考能力・コミュニケーション能力があるかどうかを問う

2-C:アクチュアリー専門コース 学内推薦入試(7月、10月、1月)

【出願資格】2024年度中に早稲田大学各学部を卒業または卒業見込で、かつ、以下(1)または(2)を満たすもの

(1) GPAが2.7以上

(2) 次のAおよびBの条件を満たしていること

A: GPAが2.4以上

B: 以下の①または②のいずれかを満たしていること

① 公益社団法人日本アクチュアリー会のアクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に1科目以上合格、又はそれと同等と認められること

② 数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、20単位以上が「A」以上

2-E:アクチュアリー専門コース 学内5年一貫修了制度入試(7月、10月)

【概要】以下によって当研究科を早期修了することを認める制度

- 早稲田大学学部4年生以上に在籍中に、当研究科が学部生に開放する科目(先取科目)を**20単位以上**修得
- 当研究科1年次において修得した単位と合わせて60単位以上を修得

【出願資格】2024年度中に早稲田大学各学部を卒業または卒業見込で、かつ、以下**(1)から(3)**を満たすもの

- (1) 早稲田大学各学部に3年以上在学し、かつ、出願時において**110単位以上**を修得し、うち「**A**」以上が**70単位以上**である者
- (2) 学部における数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、**24単位以上**が「**A**」以上の成績である者
- (3) 「先取科目」を学部4年生以上に在籍中に**20単位以上**修得予定
(2024年度は、政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、理工3学部、国際教養学部が可能)

先取り科目

早稲田大学 政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、国際教養学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部の4年生以上に会計研究科開設科目の一部を開放し、履修が可能。

会計研究科開放科目の修得単位は、会計研究科へ進学した場合、会計研究科の『修了必要単位』として申請が可能。認定された場合は、修了要件単位数の2分の1を超えない範囲で修了単位に算入可能。

対象科目や登録時期等の詳細は所属学部のWebページおよび以下の会計研究科Webページをご参照ください。

<https://www.waseda.jp/fcom/gsa/students/class>

(ホーム > 在学生の方 > 授業・科目登録)

2-F:アクチュアリー専門コース 飛び級入試(10月、11月)

【出願資格】

出願時において4年制大学の正規課程3年次に在学中であり、以下の(1)および(2)の両方を満たしていること

- (1) 在学中の大学が発行する当該課程の成績証明書(和文)において、総計で75単位以上を修得し、「A」以上(「優」以上または「80点」以上でも可)の評価を得た総単位数が50単位以上である者
- (2) 在学中の大学が発行する当該課程の成績証明書(和文)において、数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目または経済学(ミクロ経済学とマクロ経済学)につき、合計20単位以上が「A」以上(「優」以上または「80点」以上でも可)の成績である者

(*) 大学等に在学中のまま入学することは、二重学籍となるためできません。入学までに大学等を退学していただく必要があります。

◆ 第1次試験に向けて(2024年度)

学期	春学期		秋学期	
	春クォーター	夏クォーター	秋クォーター	冬クォーター
設置科目	講義科目 ・アクチュアリー生保数理(2単位) ・アクチュアリー損保数理(2単位) ・アクチュアリー年金数理(2単位) ・アクチュアリー確率 (1単位) ・アクチュアリー統計 (1単位)		演習科目(各1単位) ・アクチュアリー生保数理演習 ・アクチュアリー損保数理演習 ・アクチュアリー年金数理演習 ・アクチュアリー数学総合演習 ・アクチュアリー会計演習 ・アクチュアリー経済・投資理論演習	
	演習科目(1単位) ・アクチュアリー統計演習	演習科目(1単位) ・アクチュアリー確率演習	アクチュアリー第一次試験	

◆ 担当教員 (★日本アクチュアリー会 正会員、●CERA、◆博士号、○公認会計士)

科目名(2024年度)		提携機関・所属	講師
アクチュアリー 生保数理	講義・演習	日本アクチュアリー会	★ 安達 良喜 ★ 浜田 淳一 ★ 越後谷 斉一
アクチュアリー 損保数理	演習・講義	PwC Japan監査法人	★ 栗山 和樹 ★ 富山 智史 ★ 魚崎 哲史
アクチュアリー 年金数理	講義・演習	日本アクチュアリー会	★● 藤澤 陽介 ★ 関口 健太郎 ★ 荒井 昭
アクチュアリー確率・統計・数学総合	講義・演習	会計研究科 准教授	★◆ 野村俊一
アクチュアリー経済・投資理論	演習	商学部 准教授	◆ 若林利明
アクチュアリー 会計	演習	会計研究科 講師	○◆ 吉野真治

◆ 主なアクチュアリー関連科目

レベル	科目名(2024年度)	
基礎科目	・ アクチュアリーのプロフェッショナルリズム ・ 数理統計基礎	・ データサイエンスⅠ ・ ビジネス数学の基礎など
コア科目	・ 生命保険の理論と実務 ・ 損害保険の理論と実務 ・ 企業年金の理論と実務 ・ 企業年金の基礎	・ データサイエンスⅡ ・ 統計ソフトによるデータ解析 ・ 多変量データ解析 ・ 保険数理概論など
実務・応用科目	・ エンタープライズ・リスクマネジメント(ERM) ・ 生命保険の理論と経営 ・ インターネット生命保険の理論と実践 ・ 保険負債のモデリング ・ 予測モデリング論 ・ 損保プライシング ・ データサイエンス演習 ・ 現代保険リスク理論 ・ 保険数学特論	・ 統計シミュレーション概論 ・ 応用確率モデル理論 ・ 時系列解析 ・ アクチュアリー ワークショップ° (WS) ・ 生保理論 ワークショップ° (WS) ・ 損保理論 ワークショップ° (WS) ・ リスクデータサイエンス ワークショップ° (WS) ・ エンタープライズ・リスク・マネジメントワークショップ° など

勉強について 早くから準備を

- ・1次試験は1科目200時間以上
- ・遅れは夏季休暇に集中して取り戻す

●例：平日3時間、土日2時間

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1科目								→			
2科目					→						
3科目			→								

⇒早期に勉強開始出来るほど、余裕をもった勉強計画を立てることが可能

勉強について 科目の特徴を知る

- ・科目ごとの難易度、特徴を理解し、勉強計画をたてる
- ・例えば、年金数理と損保数理は別の年に受験する等

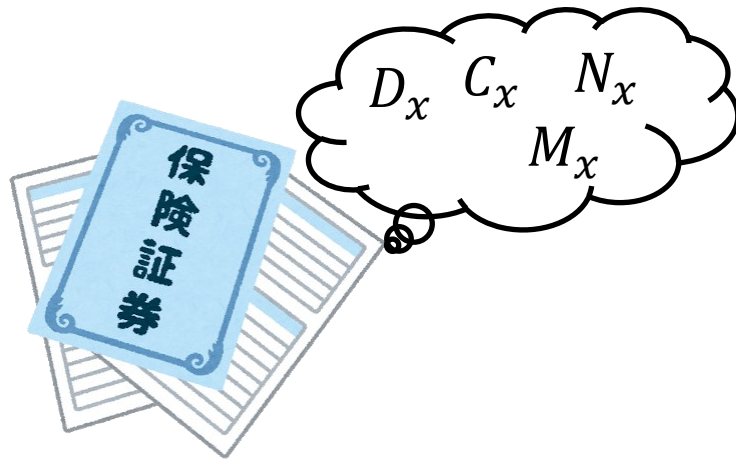
	一言で	難易度	暗記量	計算量
数学	初受験者向け	★★	★★	★★
生保数理	式変形が鍵	★★	★★	★★
年金数理	理論面の理解が非常に重要	★★★	★★	★★
損保数理	試験範囲が広く、取りこぼしの無い勉強が必要	★★★★	★★	★★★★
会計・経済・投資理論	暗記量が多いが難易度は安定	★	★★★★	★
生保1	商品開発、特性の理解が重要	★★★★★	★★★★	★
生保2	法令の背景、理解が重要	★★★★★	★★★★★	★

※作成者の主観です。

勉強について 理論を正しく学ぶ

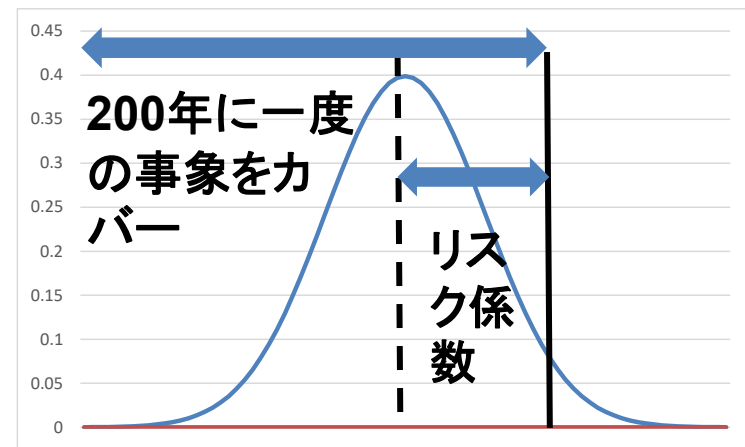
- ・1次試験の内容は、実務で活用される機会が多い
- ・試験のみに偏った勉強方法は、避ける

●例1: 生命保険の設計書(算出方法書)



⇒生命保険の設計書は、計算基数で記述されている(生保)

●例2: リスク管理に使用するリスク係数の作成方法



平均発生率 最大発生率

⇒200年に一度の事象に耐えるためには、どの程度の発生率の悪化を考慮すれば良いのか？(数学、損保)

学内奨学金(給付)

奨学金名	奨学金額(単年)	2023年度割当数
大隈記念奨学金	400,000円	2名
小野梓記念奨学金	400,000円	12名
校友会給付奨学金	400,000円	2名

会計研究科奨学金(給付)

対象者	奨学金額	割当数
ESSEC 交換留学プログラム 参加者	300,000円	2名程度
ESSEC Summer Module 参加者	150,000円	2名程度
Jacksonville 交換留学プログラム 参加者	300,000円	2名程度

奨学金名	奨学金額(単年)	割当数
私費外国人留学生支援	300,000円	4名

入学前予約採用給付奨学金

奨学金の採用結果は入試の合格発表と共に通知し、奨学金は入学後に支給(入学時に1回)

入試形態	選考基準	奨学金額
2-A: 一般入試	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に3科目以上合格している者(*)	100万円
	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に2科目以上合格している者(*)	40万円
2-C: 学内推薦入試 2-D: 学内AO入試 2-E: 飛び級入試	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に3科目以上合格している者(*)	100万円
	入試成績が優秀であり、かつ、アクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)に2科目以上合格している者(*)	40万円
	入試成績が優秀であり、かつ数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目50単位以上が「A」以上の成績である者	40万円

(*) 2月に合格発表後でも可(ただし、入試時に受給資格を判定し、入試手続時に申請)

日本学生支援機構奨学金(貸与)

奨学金名	奨学金額(月額)
第一種(無利子)	50,000円 88,000円 から選択
第二種(有利子)	50,000円 80,000円 100,000円 130,000円 150,000円 から選択
(*) 日本学生支援機構 第一種 「特に優れた業績による返還免除制度」 全額免除(2,112,000円) 採用者の10% 半額免除(1,056,000円) 採用者の20% ※免除額は月額88,000円の奨学生を想定	

よくある質問(FAQ)

Q1:入試の詳細(出願資格、出願期間、試験日など)は、何をみればよいでしょうか。

⇒「2025年度 入学試験要項」をご覧ください。

Q2:「2-A:アクチュアリー専門コース 一般入試」の筆記試験(12月実施)のためには、どのような学習をすればよいでしょうか。

⇒12月のアクチュアリー資格試験1次試験(基礎科目)の数学(確率論、統計学)を目指した学習と、日経文庫による会計・経済の基礎の学習を行ってください。また、入試は通過点であり、その先を見据えて学習してください。

Q3:「2-C:学内推薦入試」と「2-D:学内AO入試」は、どのように異なるのでしょうか。

⇒いずれも、早稲田大学各学部の4年生で卒業見込の方を対象としていますが、「2-C:学内推薦入試」では、出願資格として成績条件等を満たす必要があり、また、早稲田大学の専任教員作成の所定の推薦書が必要です。出願資格を満たしているのであれば、「2-C:学内推薦入試」による出願をお勧めいたします。

よくある質問(FAQ)

Q4:「2-F:アクチュアリー専門コース 飛び級入試」(10月実施、11月実施)は、早稲田大学以外の在学生でも受験できますか。

⇒はい、できます。ただし、学部に在学中のまま入学することはできません。

Q5:「アクチュアリー専門コース」で入学した場合も、修了後に、公認会計士試験短答式の3科目免除を受けることができますか。

⇒所定の会計科目の単位を修得すれば、免除を受けることができます。

Q6:「会計専門コース」で入学した場合も、アクチュアリー関連科目を受講できますか？

⇒はい、できます。

Q7:社会人経験者の方は、どのぐらいいますか。

⇒2割から3割ぐらいです。ただし、フルタイムの勤務をしながらの学位取得は難しいといえます。



WASEDA UNIVERSITY

ご清聴ありがとうございました

質問は個別相談
でお願いします